

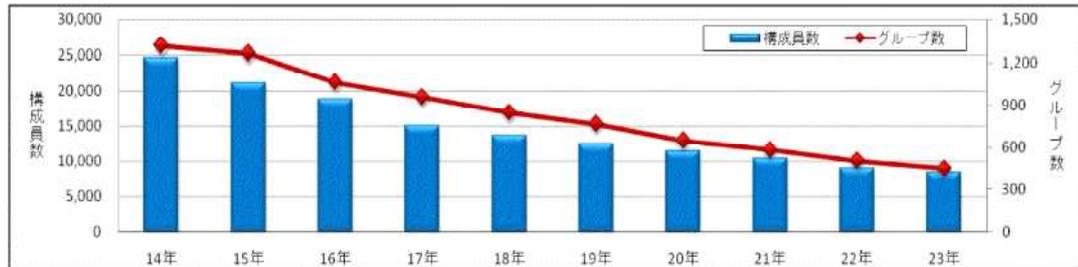
平成23年中の暴走族の動向及び検挙状況等について

1 暴走族の動向

(1) 実態

グループ数及び暴走族構成員数は、一貫して減少傾向。

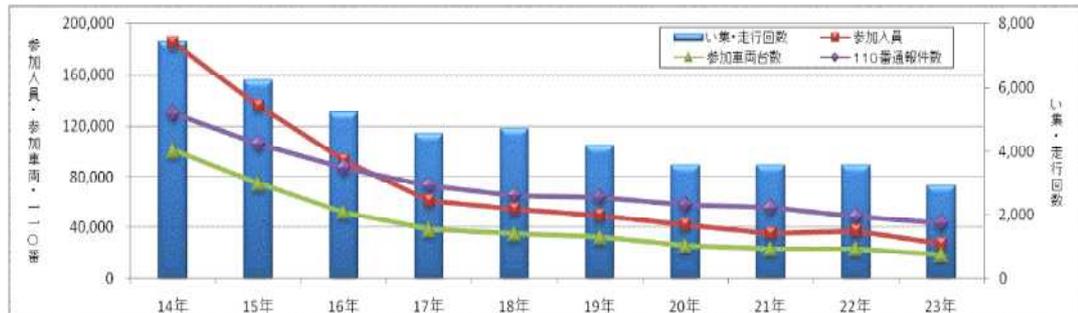
区分 \ 年別	平成23年	平成22年	前年比増減数・率		過去10年 平均増減率
グループ数	452	507	-55	-10.8%	-11.1%
構成員数	8,509	9,064	-555	-6.1%	-11.1%



(2) い集・走行回数等

い集・走行回数、参加人員・参加車両台数、110番通報件数はいずれも前年に比べて減少。

区分 \ 年別	平成23年	平成22年	前年比増減数・率		過去10年 平均増減率
い集・走行回数	2,923	3,566	-643	-18.0%	-9.5%
参加人員	27,037	36,961	-9,924	-26.8%	-18.4%
参加車両台数	18,572	23,223	-4,651	-20.0%	-16.6%
110番通報件数	43,215	48,284	-5,069	-10.5%	-11.3%



2 検挙状況

暴走族の総検挙人員は減少。

共同危険行為等の禁止違反は、検挙件数、検挙人員、1事件当たりの検挙人員ともに減少。

騒音関係違反の検挙人員は増加。

(単位：人)

区分 \ 年別	平成23年	平成22年	前年比増減数・率		過去10年 平均増減率
道路交通法	26,551	27,969	-1,418	-5.1%	-11.1%
うち共同危険行為	1,679	2,008	-329	-16.4%	-10.3%
検挙件数(件)	225	240	-15	-6.3%	1.1%
1事件当たりの検挙人員	7.5	8.4	-0.9	-10.8%	-9.6%
うち騒音関係違反	3,451	3,020	431	14.3%	-7.0%
道路運送車両法	165	213	-48	-22.5%	-17.7%
刑法犯・その他	2,596	2,594	2	0.1%	-8.4%
計	29,312	30,776	-1,464	-4.8%	-11.0%
うち逮捕者数	2,485	2,701	-216	-8.0%	-12.0%

1 騒音関係違反は、近接排気騒音に係る整備不良、消音器不備、騒音運転等をいう。

2 刑法犯・その他の「その他」は、道路運送車両法を除く特別法をいう。

3 今後の対策

暴走族のい集・走行回数等は減少しているものの、依然として暴走族は、平穏な生活に多大な迷惑と危険を及ぼす存在であることから、引き続き、共同危険行為等の禁止違反を始めあらゆる法令を適用した取締りを推進。